

双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画の概要

「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画」に関連する 主な事業

平成 30 年度（2018 年度）
以降、順次供用開始



中野の産業団地の整備

「新たな産業・雇用の場」の整備による
町への人の流れの創出

平成 31 年度（2019 年度）の整備目標



JR 双葉駅と自由通路の整備



(仮称) 双葉 IC



復興シンボル軸 (アクセス機能確保)

交通インフラの整備と駅周辺等の先行的な
避難指示解除による往来環境の確保

駅周辺等の先行解除

東京オリンピック
パラリンピック

平成 32 年度（2020 年度）の整備目標



産業交流センター



アーカイブ拠点施設



復興祈念公園 (一部)

情報発信拠点の整備による復興に関する
情報発信と町内交流人口の拡大

※写真はいずれもイメージです。

平成 33 年度（2021 年度）の整備目標

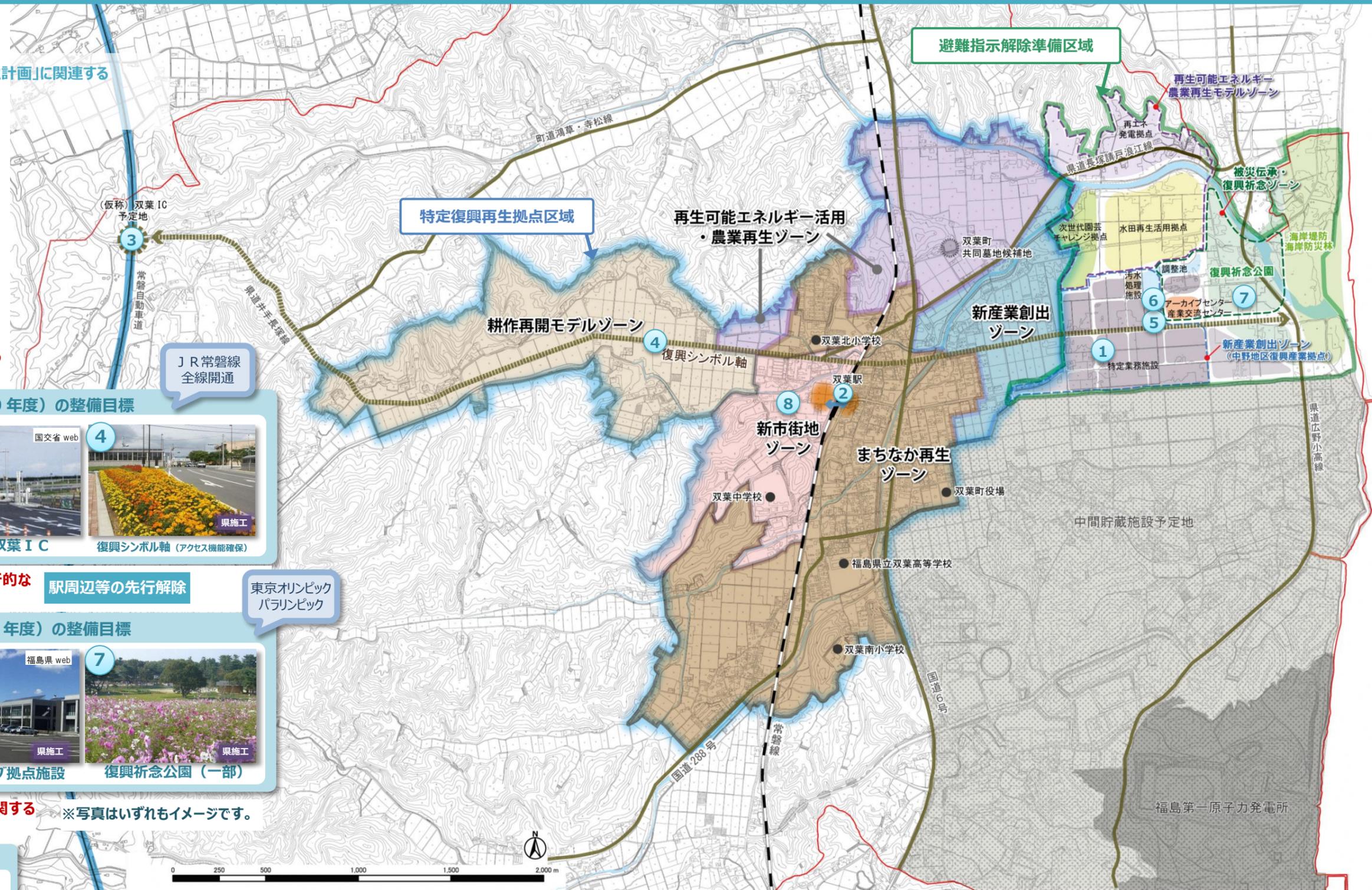


駅西の住宅団地の整備

「新たな産業・雇用の場」と連携した
「新たな生活の場」の確保・「既成市街地の再生」

特定拠点区域全域の
避難指示解除

平成 34 年春頃まで
双葉町への帰還開始を目指す



計画に関連する 主な取組

- まちなか交流拠点の再生
- 営農再開に向けた取組
- 公共・公益施設の再整備
- 商業施設等の再整備
- 生活道路、電気・通信の復旧
- 上下水道の再整備
- 空き地・空き家等の活用 等



広域図 (双葉町全域)

計画期間	平成 29 年 8 月～平成 34 年 8 月
避難指示解除の目標	平成 31 年度末頃まで 避難指示解除準備区域と駅周辺の一部区域の 避難指示解除による立入自由化 平成 34 年春頃まで 特定拠点全域の避難指示解除による居住開始
避難指示解除から 5 年後の居住人口目標	約 2000 人